



# まなびあいち

NO. 19  
2008.1~3

## 愛知県生涯学習推進センター情報誌



生涯学習情報いっぱい！『学びネットあいち』  
<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>



携帯電話からも情報検索できます。  
<http://www.manabi.pref.aichi.jp/i/>

編集・発行/愛知県生涯学習推進センター（愛知県教育委員会生涯学習課）  
〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号（愛知県東大手庁舎2階） TEL 052-961-5333 FAX 052-961-0232



### 自然観察と野草の試食会



シニア講師が、里山を巡りながら子どもや保護者に五感を使った野草の見分け方を伝授！（さがらの森づくり推進委員会）



日本の経済成長を支えてきた多くの方々が、長年勤めてきた会社を退職する時期を迎えています。そんなパワフルな人々に、今度は地域活性化の原動力として活躍していただこうと、各地区でさまざまな取組が始まっています。今回は、いきいきと地域のために活動するシニアのみなさんを特集します。

# シニア世代が地域の原動力！

## 「シニア世代による地域活性化促進事業」



## INDEX【目次】

- 【特集】シニア世代が地域の原動力！～シニア世代による地域活性化促進事業～ ..... 1
- 【体験レポ】絵本で深める親子の絆！広がる地域の輪 .. 3
- 【インタビュー】打ち込めるものがあるからこそ毎日が潤うのです！～山田真弓さん～ ..... 13
- 【ネットワーク機関紹介】生涯学習の拠点として～放送大学愛知学習センター～ ..... 14
- 【ボランティアだより】地域の子育て支援を担う！～子育てネットワーク～ ..... 15
- 生涯学習イベントの日を開催しました！ ..... 17
- いきいき生涯学習 ..... 18
- 住宅用火災警報器を設置しましょう～火災から尊い命を守るために～ ..... 19

=特集=

## シニア世代が地域の原動力！～シニア世代による地域活性化促進事業～

今、日本の経済成長を支えてきた多くの方々が、長年勤めてきた企業を退職する時期を迎えています。退職という区切りを迎えたものの、若々しく、これまでの人生で培った知恵や豊富な経験をもっている方が多くみえます。

この知恵と経験を地域社会のために生かしていただくことが、地域活性化の大きな原動力となるはずです。同時に、シニア世代や高齢者世代にとっても、新たに社会の中で活躍する場をもつことは、第2の人生の「いきがい」となるのではないのでしょうか。

愛知県教育委員会は、シニア世代が公民館を活用し社会教育活動に参画する取組を設定することにより、自発性を喚起するとともに、地域づくりや地域活性化につながる活動を支援しています。今回は、5つの地区の取組について紹介します。



### 今からできる！社会教育活動への参加を目指して <明日の元気塾実行委員会(安城市)>

シニア世代 10名の皆さんが集まって公民館講座を受けることから始め、いかだを制作して「矢作川下り」に挑戦することで仲間同士の結束を強めました。さらに、長野県へ出向いて環境整備の実践活動を行ったり生き方を見直す講義を聞いたりする活動を通して、地域社会で積極的に活動するシニアのグループが生まれつつあります。



手作りのいかだで「矢作川下り」に参加！→

いかだの制作は、設計から組立までグループで試行錯誤して進めました。当日は、みんなでいかだに乗り、難所を乗り越えることで、心地よい連帯感を感じました。

### 力を合わせて子どもたちの安全を守る！ <大治町シニア地域活性化事業実行委員会>



60歳の節目に開催される「年輪のつどい」に参加された方々が、地域への恩返しを目的に、ボランティアグループを設立しました。児童の登下校の安全確保を目的に「自宅までの付き添い」や「通学路での見守り」を行い、学校や保護者からは感謝の言葉が寄せられています。また、この活動は、児童とシニア世代のふれあいの場にもなっています。

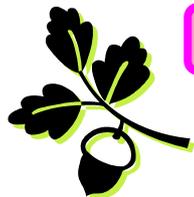
← 登校時の付き添いの様子



登下校の付き添いを通して近くの小学生と顔なじみになり、あいさつや話をしながら楽しく取り組んでいます。

## 里山整備実践講座～地域の自然を地域の子どもたちへ～ <瀬戸市シニア地域活性化促進協議会>

品野東地区の敬老会や公民館の運営委員を中心としたシニア総勢 50 名で、品野台小学校の裏山の草刈りを行いました。さらに、身近な里山を子どもたちが入れる憩いの場として、また四季が観察できる場とするため、林道を整備し、丸太を使い階段や柵を作りました。子どもたちのために環境を整備し、自然について学ぶ機会を提供することが、シニアのみなさんのやりがいとなっています。



子どもへの思いを込めて手作りの階段を作製！→

子どもたちが安全に裏山に入れるように、百本を超える丸太を使い、階段作りに汗を流しました。

## 「大人の学校」～地域を調べる・学ぶ・体験する～ <知多市シニアさそい愛実行委員会>



地域の社会教育団体やボランティア団体と手を結び、団塊の世代の経験・人脈・特技などを地域づくりにいかすために、シニア対象の公民館講座をスタートさせました。歌って健康シルバーライフ・団塊クッキング教室・自助具製作スタッフ養成などの講座や公民館の利用実績調査、堀田力氏の講演会を実施して、地域活動へのシニアの登場を促進していきます。

←団塊クッキング教室

第1回のそば打ちは、実際やってみると奥の深い料理でした。できあがった作品をみんなで舌鼓をうって楽しみました。



## 里山を守り市民が自然に親しむ環境を！<さがらの森づくり推進委員会(蒲郡市)>

多くの人に里山の自然に親しんでもらおうと、毎月第4土曜に集まり、さがらの森の清掃や遊歩道の整備などを行っています。また、公民館や市生涯学習課と協力して、「自然観察と野草の試食会&竹炭づくり」や「里山の野草で染めよう！」の講座を開催しました。多くの人に自然の大切さを知ってもらい、一緒に里山の自然を守る活動をしてもらいたいと考えています。



竹炭づくり講座→

束ねた竹をかまどにつめ、その後火を入れて炭をつくる行程を体験してもらいました。講師も経験豊かなシニアが担当しています。



どの地区でも、シニアの方々がいきいきと活動していらっしゃいます。このような活動を通じて、世代を超えた交流がはぐくまれたり、お互いを助け合う地域としての一体感も生まれるのではないのでしょうか。

<お問い合わせは> 生涯学習課社会教育推進グループ 電話 052-954-6780

# 私らしく始めよう！生涯学習



愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」では、自分の学習目的に合わせて講座などの情報を検索できる他、特に学習目的が決まっていなくても、自分の予定にあわせて講座情報を検索できる“イベントカレンダー”も充実しています。今回は、この“イベントカレンダー”を利用して、名古屋大学の富田さんが、新たな学びの世界を取材してくれました！



## 【絵本で深める 親子の絆！広がる 地域の輪！】

台風の影響で小雨が降る9月上旬。大府市中央図書館で開催された講演会「絵本とコミュニケーションー親子で楽しむ絵本の話ー」に参加してきました。この講演会は市の図書館と大府市の図書館ボランティアグループ O.V.L が連携して、絵本を通じての子育て支援の一環として行われたものです。O.V.L はこのような活動を始め、絵本の勉強会を開催したり、作家さんを招いて講演会なども行っているそうです。

今回は、愛知県立大学講師 林美千代さんが「絵本と子どもの成長とのかかわり」について講演し、その後 O.V.L の山崎かよみさんによるブックトーク（おすすめの絵本の紹介）が行われました。ところどころで、O.V.L の方が紹介された絵本の中から、何冊か読み聞かせを行ってくださいました。表情豊かにセリフを読み、間の取り方が絶妙で、思わず聞き入ってしまいました。

講演の中で「親が子どもに読みきかせをすることは親子のコミュニケーションを図る機会なので、子どもが絵本の内容を理解することにこだわらず、ただ子どもが楽しいだけでも良い」とおっしゃっていたこ



△林先生の講演の様子



△ みなさん絵本の読み聞かせに聞き入っています。とが意外で、印象に残っています。

その他にも、絵本を読ませることの大切さから、読み聞かせる際のアドバイスや年齢にあった絵本の選び方まで、絵本に関する幅広い知識を得ることができ、絵本の奥深さを学ぶことが出来ました。参加者の方も紹介された本の題名をメモし、積極的に質問をなさっていました。

絵本は、絵の描写で登場人物の微妙な気持ちなどを表現しており、時には社会問題等も描かれています。この点で絵本は子どもだけでなく大人も楽しめ、世代を越えたコミュニケーションを図るのに最適なものです。

私はよく図書館を利用しますが、このような活動があることを知りませんでした。図書館とボランティア団体が提携し、市民との交流を図る活動は様々な地域で行われていると思います。みなさんも、ぜひお近くの図書館に足を運んでみてください。今まで気づかなかった新しい発見があるかもしれません。

### 大府市中央図書館からのお知らせ

#### ボランティアグループによる おはなし会を開催します！

- ★おはなしべや【2月2、16、23日 14時から：児童室】
- ★親子で楽しむお話し会【2月5、12、19、26日 11時から：児童室】
- ★朗読グループおおぶ「紙ふうせん」【2月9日 14時から：児童室】
- ★大府市中央図書館ボランティアグループ【2月14日 10時から：視聴覚室】  
→ コールデコット賞『チャンティクリアときつね』/子育てに効く本



この人に聞く！

打ち込めるものがあるからこそ  
毎日が潤うのです！



生涯学習に関する様々な活動をしてみえる方にお話を伺い、その方の信念や活力の源に迫ります。今回は、仕事も家事もこなす忙しい毎日の中で、生き生きとハーブの学習に取り組んでいる、山田真弓さんにお話を伺いました。

— ハーブの勉強を始めたきっかけについて教えてください。

山田さん（以下敬称略。） 7、8年前に、友だちと行った喫茶店で注文したパフェに、ミントの葉が飾られていました。とても生き生きしていたので、自宅へ持ち帰り、コップに挿したらすぐに元気になりました。その後、庭のプランターに植え直したら、一週間でグングンと伸びたのです。この生命力に驚かされたと同時に興味をそそられ、本で調べたのが始まりですね。

— なんだか運命のような出会いですね。

山田 本当ですね。ちょうどその頃、新聞の折込チラシの中にハーブの通信講座の広告を見つけたのです。どこかで仕組まれているみたいでしょう（笑）。働きながらでしたので、通信ならできるかもしれないと、思い切って申し込んでみました。学んでいくうちに、ハーブの素晴らしさを他の人にも伝えたいと思い、インストラクターの資格取得に挑戦しました。そのためには、ハーブ以外に、園芸基礎、土、肥料、ガーデニングなど幅広い分野を勉強しなければなりません。「これは大変！」と思い、図書館で必死に勉強しましたね。時には、園芸店で肥料の比率について教えてもらったり、自分で庭をデザインするなど、本当に大変でした。

— ミントの葉1枚で、ご自身の世界が大きく広がりましたね。

山田 そうですね。インストラクターの資格取得後は、ハーブの香りがもつ“癒し”について興味をもち、アロマセラピーを学んだり、ハーブのクラフト作りに役立つかなと思ってラッピングの勉強もしました。今は、卵の殻を使ってエッグポマNDERを作りたいと思い、トールペイントの教室に通っています。

— まだまだ、山田さんの挑戦は続いているんですね。

山田 ハーブを学んだことで、さらに、やりたいことや知りたいことが次々と湧いてきます。積極的に新しい世界に挑戦することで、自分自身の世界も広がると同時に、共に学ぶ友だちの幅も広がりましたね。

うれしいことに、庭で花の手入れをしていると、近

所の方が話かけてくれるんです。情報交換したり、花の交換をしたりしているうちに、道を歩いていても気軽に声をかけてくださるようになり、地域をグンと身近に感じることができるようになりました。

私にとってハーブは、多くの人との出会いを与えてくれた、大切な存在なのです。

— それにしても、仕事も家事もこなしながら、勉強することは大変ではありませんか。

山田 よく言われます（笑）。平日の夜や土日に、「今日は何時間やる！」と時間を決めて、集中して勉強するようにしています。時々、自分でもどこにそんなパワーがあるのかと不思議に思いますね（笑）。

— やはり、人との出会いがパワーの源でしょうか。

山田 そう思いますね。イベントなどで、作品を出展したり体験教室を開いたりすると、いろいろな方とお話する機会が増えます。会話を通して、一人一人の素晴らしい感性に触れ、それが私自身にとってとてもいい刺激になっています。

— 忙しい毎日の中でも、自分が打ち込めるものを見つけ、生き生きと学習に取り組んでいる山田さん。最後にメッセージをお願いします。

山田 自分が少しでも興味をもったことがあったら、「今忙しいから」といって機会を伺わずに、思い切って一歩踏み込んでみてください。時間は作るものなのですから。その一歩がだんだん楽しくなって、生涯の学習につながっていくと思います。もし、身近に学習サークルがあれば、ぜひ参加してみてください。都合に合わせてできるし、仲間も増えます。きっかけの場としては最適だと思いますよ。

【山田真弓さん（学習サークル「暮らしに活かすハーブ」代表）】

県生涯学習推進センターで、ハーブを使った小物づくりを教えてみえます。他にも、須成ホーム（蟹江町）でボランティア活動を行うなど、趣味を生かした地域活動にも積極的に取り組んでいらっしゃいます。

## 生涯学習の拠点として ～放送大学愛知学習センター～

放送大学は、文部科学省・総務省所管による昭和58年（1983年）の設立以来、テレビ等のメディアを効果的に活用して大学教育の機会を幅広く国民に提供することを目的としており、我が国の生涯学習推進の中核的機関となっています。

放送大学愛知学習センターは、愛知県における地域住民の生涯学習の場として、平成4年10月（当時：愛知ビデオ学習センター）から学生の受入れを開始して以来、東海・北陸地区の拠点センターとして整備され、本年は15周年を迎えました。

当センターには、平成19年度第1学期現在、10歳代から80歳代まで幅広い年齢層の学生2,725名（教養学部2,541名、大学院生184名）が所属しており、多くの学生は、会社員、公務員、自営業、農業、看護師、アルバイト、派遣職員及び主婦等さまざまな職業に就きながら、限られた時間を捻出し日々の学習を行っています。学生の中には、定年で勤めを終え、第二の人生において新たな目標を持って、学習を行っている方も数多くいます。



このような幅広い年齢層のさまざまな学生に対して、放送大学及び近隣大学の教員による面接授業や当センターの客員教員（10名）によるゼミ・学習相談等を通じてきめ細かい指導を行っています。

当センターは、視聴学習室に授業テープ、視聴機器設備を備え、放送教材の個別視聴の機会を提供し、図書室では、図書及び各種資料の配架・閲覧・貸出を行っています。また、公開講演会・各種イベント等を企画・実施し、学外一般の方にも学習の機会を提供しています。



愛知学習センター教職員一同は、当センターを愛知県における生涯学習の拠点として充実・発展させ、知的探究・人間交流のための明るく快適なセンターにするよう、面接授業等教育の充実及び施設の整備を行い、所属学生へのサービス向上に努め生涯学習の支援活動等に前向きに取り組んでいます。

### ◆◆ 平成20年度第1学期（4月入学）学生を募集しています！ ◆◆

<教養学部> 全科履修生（卒業を目指す）・選科履修生（1年間在学）・科目履修生（6ヶ月在学）

<大学院> 修士選科生（1年間在学）・修士科目生（6ヶ月在学）

※ 詳しい資料（学生募集要項等）を無料進呈いたしますので、お気軽にお問合わせください。

**出願受付期間：平成19年12月15日～平成20年2月29日**

#### ● 資料請求（無料）・お問い合わせ先 ●

〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町101-2 放送大学愛知学習センター

電話 052-831-1771

★ホームページからの資料請求先 <http://www.u-air.ac.jp/>

「ネットワーク機関」とは生涯学習情報を「学びネットあいち」に提供して下さる生涯学習関連機関・団体で、随時募集しています。  
詳しくは「学びネットあいち」(<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>)をご覧ください。

# ボランティアだより



地域で積極的にボランティア活動を行っている方や、その方が所属するグループ・団体等を訪問し、実際に活動する様子や生の声を紹介していきます！

今回は、地域において子育て支援活動を行う「子育てネットワーカー」育成事業と、子育てネットワーカーが地域で活躍する様子取材しました。

## ★ 子育てネットワーカー育成事業 ★

愛知県教育委員会では、地域における「子育てサークル」の活動を支援したり、市町村が行う子育て支援活動に参加したりする「子育てネットワーカー」や「子育てネットワーカーリーダー」を育成しています。平成19年度は、養成講座とステップアップ講座を開催しました。

### <子育てネットワーカー養成講座>

子育てについて悩んでいる親などの相談に気軽に応じたり、地域における「子育てグループ」や「子育てサークル」の活動を支援したりする「子育てネットワーカー」を養成する講座です。

9月12日から4日間、幼児期の子供の特徴や親と子の絆を深める遊び、カウンセリング、読み聞かせ、救急蘇生法などを学び、107名の方が講座を修了しました。



### <子育てネットワーカーステップアップ講座>

地域の子育て支援活動に指導者として参加したり、児童虐待やDVなど現代的課題に対応したりするために、子育てネットワーカーの力量の向上を図る講座です。

9月14日から4日間、これからの子育て支援の課題についてグループセッションをしたり、コーチングや児童虐待の対応などについて学び、112名の方が講座を修了しました。



## 子育てネットワーカー養成講座に潜入!!!

9月19日(水)に行われた講座「遊びから始まるコミュニケーション」取材しました。中日こども会の三宅先生と山崎先生を講師にお迎えし、新聞などの身近なものを利用して、親子の絆を深める遊び方について、楽しく学びました。



参加者のみなさんは、既製のおもちゃに頼るのではなく、知恵を使った昔からの遊びを傳承することの大切さについて実感したようです。



# 地域の子育て支援を担う！



半田市子育て総合支援センター「はんだっこ」において、子育てについての相談やサークルの育成、センター情報誌の作成など、地域の子育て支援のために幅広く活躍している子育てネットワーカーのみなさん。

今回は、10月上旬に行われた「幼児学級」にお邪魔して、お母さんをしっかり支える、子育てネットワーカーの活動に密着してきました。

半田市子育て総合支援センターでは、今日まで半田市の子育て支援を支えてきた子育てネットワーカーの方などを「はんだっこサポーター」として委嘱し、ボランティアで市の子育て支援事業に携わっていただいています。サポーターのみなさんは、それぞれの得意分野を活かしながら、地域の子育て支援のために、忙しい合間をぬって、活動していらっしゃるそうです。

今回取材をさせていただいたのは、満1歳から1歳8ヶ月までのお子さんとそのお母さんを対象にした「幼児学級」。子育てネットワーカーが中心となって講座を運営しています。当日は、14組の親子が参加し、和やかな雰囲気の中、絵本の読み聞かせや簡単にできる親子のコミュニケーションの方法などについて、話をしてみえました。わかりやすく、優しく説明していらしかったので、参加したお母さんたちも、うなずきながら真剣に話を聴いていました。

その後は、グループに分かれて、自由に話し合う「おしゃべりタイム」が始まりました。母乳のこと、子どもの自我のことなど、日頃から不安に思っていることを相談します。当初はぎこちなかったお母さんたちも、ファシリテーターを務める子育てネットワーカーの方が巧みにグループのメンバーに話を振ったおかげで、最後には積極的に自分の経験や意見を話し、お互いにアドバイスができるまでになっていました。

はんだっこサポーターとして活動する、子育てネットワーカーの榎原さんにお話を伺いました。「お母さんたちが、子育てについての知識を学び、情報交換をすることも大切ですが、『おしゃべりタイム』を通じて仲良くなり、“ママ友”づくりのきっかけになるよう工夫しています」。実際に意気投合して、講座修了後、ランチをしたりするお母さんもみえるそうです。

「ネットワーカーとして、経験だけで物を言うのはだめですね。知識を身につけるために勉強も欠かせません。そのために、県の養成講座を受講したり、他の市の活動を見たりして、自らネットワークを広げていきます」。いきいきと話す榎原さんの笑顔に励まされたお母さんも多いことでしょう。子育てネットワーカーは、地域に欠かせない原動力になっているようです。



△ 終始、わきあいあいとした雰囲気でした。



都市化や核家族化などが進む中、地域における子育て支援が大変重要になってきています。身近に相談できる人がいなかったりすることで、一人で悩んで、つつい引きこもりがちになってしまうお母さんもいらっしゃると思います。

そんなお母さんの力強い味方、子育てネットワーカーは各地区にいて、気軽に相談にのってくれます。子育て支援センターなどの施設も上手に活用して、自分らしく楽しく子育てをしてくださいね。



# 「生涯学習イベントの日」を開催しました!

平成19年11月3日(土)に、愛知県生涯学習推進センターで「生涯学習イベントの日」を開催しました。学習サークルによる体験コーナーやステージ発表、作品展示、ラウンジコンサートなどが行われ、約550の方が来場し、活気にあふれた一日となりました。

## ラウンジコンサート



中部フィルハーモニー交響楽団メンバーによる室内楽コンサートの様子です。その素晴らしい演奏にみんな聞き入っていました。



## ステージ発表



生涯学習推進センターで活動する学習サークルが日頃の練習の成果を発表しました。会場全体がひとつとなって、とても盛り上がっていました。



## 体験コーナー



学習サークルによる体験コーナーの様子です。日常ではなかなか体験できない内容のものもあり、参加者は時間がたつのも忘れて作品作りに熱中していました。



## パソコン講座



毎回人気の高いパソコン講座。先生の教えを吸収しようと真剣に取り組んでいる姿がとても印象的でした。



# いきいき♪生涯学習 ～学習サークルのご紹介～

楽しく、いきいきと生涯学習に取り組んでいる学習サークルをご紹介します。  
今回は、愛知県生涯学習推進センターで活動する学習サークルです。

## 鶴舞俳句会



西村草史先生（ホトトギス誌の同人）の指導のもとに、俳句をこよなく愛し生き甲斐としている人たちによって会を継続しています。毎月第1火曜日に句会をし、時には吟行も致します。毎月の研鑽の成果を俳句誌“ホトトギス”へ投句しております。俳句の季題は永遠に老いることもなく、いつもどこかに新鮮さが有り、また句友というグループはとっても良いものです。

## はなの木水墨会

墨と水と紙の調和、墨の濃淡で表現する水墨画の美しさ、奥深さに魅せられ、仲間が集まりました。手本をもとに描法、技法の練習をしたり、各自が自分で花や野菜などをスケッチし、それを元に水墨画に仕上げたりして制作しています。時には思い通りに表現出来ず悩んだり、苦労したりもしますが、作品が出来上がったときの喜びはひとしおです。



## ゆうゆうくらぶ



「ゆうゆうくらぶ」は名古屋西高校卒業の同級生で組織し、パソコンを趣味とする集まりです。毎月1回、午前午後を通して開催し、もう丸3年を越えました。お昼の休憩時間には食事とお茶をしながら、共に語り合い、パソコン勉強会と言うよりもミニ同窓会を開催しているような感じです。1年前より恩師の先生もお仲間に参加され、学生時代の話も飛び交い、同窓生と言うことで、お互いが気心が知れて居りますので本当に楽しい会合です。

# 住宅用火災警報器を 設置しましょう。



愛知県内の住宅には、平成20年5月31日までに火災警報器を設置しなければなりません。  
(新築住宅には、既に平成18年6月1日以降設置が義務付けられています。)

## どこに取り付けられればいいの？

火災警報器の基本的な取り付け場所は、少なくとも寝室と、寝室が2階などの場合は階段にも設置が必要とされています。市町村によっては台所にも設置が義務付けられています。



設置が義務付けられて  
いる所(寝室・階段等)

※市町村条例により台所にも  
設置が義務付けられる市町村

名古屋市、豊橋市、岡崎市、春日井市、豊川市、碧南市、刈谷市、  
安城市、豊田市、西尾市、江南市、知立市、高浜市、日進市、田原市、  
東郷町、一色町、吉良町、幡豆町、三好町、音羽町、小坂井町、御津町

## 悪質な訪問販売に 注意しましょう！

消防署が住宅用火災警報器を  
販売することはありません。  
不適正な価格・無理強い販売などを  
行う業者にご注意ください。



住宅用火災警報器に関する  
ご質問などはお気軽に  
ご相談ください。

住宅用火災警報器相談室  
**0120-565-911**

受付時間は月曜日から金曜日までの午前9時～午後5時  
(12時～1時を除く、土日及び祝祭日はお休みです。)



問合せ先:愛知県防災局消防保安課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 052-954-6144(ダイヤルイン)



生涯学習推進センター情報誌「まなびあいち」は、生涯学習に取り組むみなさんと、愛知県生涯学習推進センターを結ぶ広報誌です。「こんなことを取り上げて欲しい!」「こんな情報がほしい!」「活動を取材してほしい!」、どんなことでも結構です。ご意見等を下記までお寄せください。

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号 愛知県生涯学習推進センター  
ファクシミリ: 052-961-0232 Eメール: info@manabi.pref.aichi.lg.jp



生涯学習のマスコット  
“マナビ”

